

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は、函館で生まれ育ち、高校卒業後、北見の大学に進みました。その後、1996年(平成8年)にサンコーコンサルタント株式会社へ入社し、札幌支店に配属となりました。

入社してから現在まで、主に道路建設や道路防災に係わるトンネル地質調査や斜面地質調査に従事しています。

技術士の受験動機は、発注者の信頼をより高いものとするため、社会的に信頼されている技術士を取得しようと考えたからです。弊社は、東京に本社があり、北は北海道から南は九州まで全国的に営業を行っています。私は、本社や他支店で受注した業務を担当することもあり、面識のない発注者の信頼を得るというためにも技術士の取得は必要だと考えました。もうひとつは、昨今、プロポーザル方式・総合評価方式の業務が非常に多くなってきており、業務を主体的に行うためにも参加要件・資格の技術士が必要であると考えたからです。

私は、2007年度(平成19年度)に一次試験(建設部門)に合格し、その後5年を費やし(途中で何度も挫折しそうになりながら)、2012年度(平成24年度)の二次試験でやっと合格することができました。

技術士の取得後は、より高度な応用力・判断力が求められることが多くなり、これまで以上に社会的責任が重くなることを改めて認識しています。

最後になりますが、これからも継続研鑽に励み技術力を向上させ、技術士として責任を果たしていきつつ、今後も生まれ育った北海道で建設コンサルタントとしての仕事を続けて、地元・地域に貢献していきたいと考えています。

佐々木 悟 (ささき さとる)

● 応用理学部門(地質)

勤務先

サンコーコンサルタント株式会社
札幌支店地質課



→次号は、小野寺則人さん(建設部門)

2007年(平成19年)に現在の会社に入社し、発注者支援業務の技術者として釧路開発建設部釧路道路事務所に勤務しています。釧路道路事務所に勤務して以来、現在に至るまで北海道横断自動車道の担当として監督支援業務を行っている訳ですが、今まで経験したことのないトンネル、橋梁等の重要構造物が盛りだくさんであり、50歳を目前に未だ勉強中の身であります。

私は道東の別海町出身で、大学卒業後地元の建設会社に入社し12年、その後釧路のコンサルタント会社に4年、そして現在に至る訳ですが、その間「施工管理」、「設計」、「監督支援業務」と、様々な経験をさせていただきました。最近の公共事業は、新技術や情報技術の普及により必ずしも経験だけがものを言う時代ではありません。また、公共事業が削減され競争が激化する中、工事を受注される施工業者の苦労は並大抵のものではないと思います。そのような時代背景のなかで、今までの経験を踏まえながら日々新しい情報を仕入れつつ、受注者に適切な助言ができるよう努めています。

昨年度末に道東自動車道浦幌～白糠間の供用が開始されました。今年度は白糠～阿寒間が供用開始予定であり、今後更なる地域間交流の活性化、物流の効率化が期待されます。また、今後は阿寒～釧路間の事業が主となりますが、軟弱地盤や希少生物の生息等解決しなければならない問題が山積しています。道東自動車道の建設に係わる技術者として、それらの問題を解決するために貢献できるよう取り組んでいくと同時に、技術士として更なる自己研鑽を重ねていきたいと思っています。

上杉 充 (うえすぎ あつし)

● 建設部門
(施工計画、施工設備及び積算)

勤務先

一般財団法人
北海道道路管理技術センター



→次号は、及川泰輔さん(建設/上下水道/総合技術監理部門)